知ることからはじめよう

～ 愛であふれる 上島町へ ～

弓削高校生との街頭啓発

人権・同和教育の取組①

上島町教育委員会
中西　智恵

みなさんは人権・同和教育と聞いてどんな印象をお持ちですか。多分「重苦しい」「難しい」といった印象を持たれる方が多いのではないでしょうか。確かに同和問題のように今なお解決できていない課題や、インターネット上での差別や性的マイノリティといった新しい人権課題も増えてきています。それらの課題解決にむけて真剣に取り組んでいく必要があります。しかし、人権・同和教育の取組にあたっては、もっと肩の力を抜いて、子どもから大人までみんなで気軽に話しあえるのが理想の地域だと考えます。上島町では今、そういう町をめざしていろいろな取組を実践しています。

上島町人権啓発講座

「知る」ということは人権・同和教育にとってとても大切なことです。間違った知識や情報から偏見や差別が生まれます。正しく知るということが、差別解消へむけた第一歩なのです。上島町でも、いろいろな人権問題についてみなさんに知っていただく機会を設けています。

３月９日(水)には、上島町人権啓発講座が開催されました。今回は震災と人権がテーマでした。東日本大震災時の様子、避難所でおこる人権問題など知ることができました。

弓削高校生との街頭啓発

３月18日(金)に弓削高校生と一緒に街頭啓発を行いました。高校生も地域の一員として積極的に活動しています。ぜひ今後もこの活動を続けていきたいと思います。

これからも広報にていろいろな取組をご紹介させていただきます。差別や偏見をなくすために、私たちにできることはたくさんあります。大きなことでなくとも身の回りの小さなことから、講演会や講座を聞きにきていただくことから始めていただいてもかまいません。自分にできること、家庭でできること、地域でできることをこれからもみなさんと一緒に考え、取り組んでいきたいと思いますので、よろしくお願いします。

農業における経験の重要性

ハウスレモンと菜の花

島おこし協力隊活動報告

島おこし協力隊
原田　広志

こんにちは、島おこし協力隊の原田です（岩城島）。柑橘類の収穫作業も落ち着きはじめてきました。これから上島町の農家さんは柑橘類の管理作業の一年がはじまります。剪定や施肥、摘果や防除等の作業があります。私にとっては初めての作業ばかりで、剪定などのやり方を聞いて、話を理解したつもりでも、実際に樹木の前に立ってみると何をどうしていいのかわからなくなってしまいます。知識や技術はもちろん、経験がものをいうと感じました。

農業という産業は特に経験が大切な仕事だといえます。例えばトマトを育てていたとしても、場所や日当たりの環境、施肥や灌水等の管理方法などで育ち方が変わります。柑橘でも同じことがいえ、それぞれの農家さんが管理している土地や気候に合わせて経験や感覚を研ぎ澄まして栽培をされています。さらに、売り先などが複数ある場合、売り先の使用目的などに合わせてサイズや品質、梱包方法なども変わり、それによって管理の仕方や出荷調整が変わります。このように不特定多数の要因によって管理方法や作業が大きく左右され、一概にどの方法が正しいということがいえません。

上島町のこれからの農業を考えたときに、気候や風土にあった柑橘類に加えて、これからできることは何なのか、どのような品目や取り組み等ができるのかを、考えながら活動していき、もっといろいろなことを吸収していきたいと思います。

弓削高等学校

http://ehm-yuge-h.esnet.ed.jp/

古巣羽ばたく14名の卒業生、卒業式挙行

地域医療研修会（県立医技大）

平成28年２月16日(火)に愛媛県立医療技術大学の災害医療ボランティアサークル・医技タットの方々を講師として、１・２年生対象に本校で地域医療研修会を行いました。昨年度医技タットが行ったボランティア活動の説明の後、災害対応カードゲーム教材「クロスロード」等で、地域における災害医療に関して学ぶことができました。１年生の北濵勇大さんは「いざという時のために正しい知識をしっかりと学ばなければならないと思ったのと同時に、多くの人を守るために自衛隊に入隊したいという気持ちが更に強くなりました。」と話していました。

平成27年度第67回卒業証書授与式挙行

平成28年３月１日(火)に平成27年度第67回卒業証書授与式を本校体育館で挙行し、多数の御来賓の皆様と保護者の皆様に見守られながら卒業生14名が学び舎を後にしました。

式では、勝田毅校長から「みなさんが新しい世界で活躍できるものと確信しています。」と式辞があり、卒業生代表の越智彩さんが「大好きな弓削高校で得た自信と誇りを胸に、それぞれの道をしっかりと歩み続けたいと思います。」と力強く答辞を述べました。

生徒たちは少人数ながら絆を深め、充実した学校生活を送ることができました。今まで卒業生を支えていただき、本校の教育活動に御助力いただいた皆様方、本当にありがとうございました。

弓削商船高等専門学校

http://www.yuge.ac.jp/

春空の下、学び舎を後に

平成27年度
卒業式及び修了式を挙行

平成28年３月12日(土)、平成27年度電子機械工学科・情報工学科卒業式及び専攻科（生産システム工学専攻）修了式が本校第二体育館で挙行され、卒業生56名、修了生５名が学び舎を後にしました。

式では木村校長より「卒業後、どんな困難があってもチャンスに変えるスキルをたゆまぬ努力によって身につけてください。」と式辞があり、卒業生総代の矢野翔也さんが「青春時代の五年という期間を自分自身の成長のために捧げた私たちだからこそ乗り越えられる何かが必ずあると信じ、胸を張って突き進んで行きます。」と力強く答辞を述べました。

春空の日差しの下、卒業生・修了生たちの表情は、これからの輝ける未来に期待を弾ませているかのように輝いてみえました。

キッズジョブまつやま
（職業体験イベント）への出展

平成28年２月28日(日)、松山コミュニティーセンターにおいて『キッズジョブまつやま』が開催され、本校も出展しました。

このイベントは50講座もの職業体験講座が、企業・学校などの団体により実施されるものです。

本校の体験講座は、コミュニティーセンターの温水プールにて船舶に搭載されている非常用救命いかだへの試乗、非常食の試食、海で浮かぶイマーションスーツの実演などを行いました。